

# 令和8年度 松戸市立小金中学校 学習の指針(シラバス)

教科	美術	学年	1年
----	----	----	----

## 1 学習の目的

- 造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- 豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。
- 楽しく美術の活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

## 2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学びの地図(オリエンテーション)</li> <li>■ 色彩について学ぼう</li> <li>■ 鉛筆によるデッサン</li> <li>■ 絵画の見かた(鑑賞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図画工作から美術へのつながりを知る。</li> <li>・ 色をもたらす効果を学び、身近なものに色彩的な関心をもつ。</li> <li>・ 明暗による立体表現と、描き方の工夫による質感表現を学び、鉛筆によるデッサンを行う。</li> <li>・ 絵画鑑賞の基礎知識を身につけ、見方や感じ方を広げる。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スクラッチアート</li> <li>■ 色鉛筆画</li> <li>■ 立体表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニードルによる繊細な描写によって、動物を描く。</li> <li>・ 色鉛筆の基礎的な技法を身につけ、対象の造形的特徴を捉えた描写を行う。</li> <li>・ 対象を立体的に捉え、造形的特徴を再現する。</li> </ul>

## 3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	ワークシート, 作品, 自己評価表, 観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ, 表現の意図と工夫, 機能性と美しさの調和, 美術の働きなどについて考え, 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり, 美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい, 美術を愛好する心を培い, 心豊かな生活を創造していくことができる。	

## 4 授業を受けるにあたって

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組む。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加する。自他の作品や物は大切に扱う。後片付けまで誠実に。
3. 授業で使う道具…鉛筆(H, HB, 2B, 4B), 色鉛筆, タブレット等。
4. 授業中の少人数学習…題材によって3人から4人のグループで行うことあり。